

豊田市動物愛護寄附金を活用した事業のご紹介

ご寄附は「譲渡する犬猫」「収容される犬猫の削減」「ペットの防災対策」のために使わせていただきました。その使途の一部をご報告させていただきます。

2024
Report

犬猫の収容環境の改善

犬猫の動物福祉に配慮した飼育環境に近づけられるように、改善を図っています。

令和6年度は保温ヒーターを導入しました。幼齢動物や負傷動物の体調管理に役立っています。



ICUでの幼齢猫の飼育

地域猫活動の支援・推進

豊田市動物愛護センターにて、市内の地域猫の避妊去勢手術を行っており、その際に使用する手術器具の滅菌機器（オートクレーブ）を導入しました。

令和6年度は483頭の地域猫の手術を実施しました。



地域猫の搬入 手術器具の滅菌

収容された犬猫の検査・治療

豊田市動物愛護センターではできない、収容された犬猫の検査や治療を動物病院で実施しました。避妊去勢手術、病気・けがの治療や手術などを受けることができ、新しい飼い主への譲渡へつなげることができました。



おなかの手術を受けました。元気になって新しい家族も見つかりました！

手術を受けた犬

災害時におけるペット飼育環境の整備

災害時に、避難所に避難した人もペットも安心して過ごせるよう、ペット専用の屋内飼育スペースとして、避難所に移設可能な「コンテナハウス」を新たに3機整備しました。コンテナハウスは冷暖房設備を完備し、暑さ・寒さから避難動物を保護できる環境を整えました。ソーラー発電と外部給電が可能で、停電時にも対応できます。

